# リリースノート

バージョン 3.0.0.0 / 3.0.1.0 – 2014/01/14 公開

※ wivia は、株式会社内田洋行の日本における登録商標です。
※ Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の米国及びその他の国における登録商標です。
※ Apple、Mac、Mac OS は、米国 Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※ その他システム名、プログラム名などは、一般に各社の登録商標です。

## ■ 概要

wivia 3.0.0.0 では、ハードウェアを刷新し、製品全般に渡る品質の改善と機能の追加を行いました。機能の追加により利便性を向上させるとともに、パフォーマンス及び信頼性の向上を図っています。
ハードウェアの刷新に伴い、wivia 3.0.0.0 をご利用いただくためのソフトウェア（Windows 用 wivia ソフトウェアおよび Mac 用 wivia ソフトウェア）の提供を開始いたします。

## ■ 以前の wivia との互換性について

wivia 3.0.0.0 で提供されるファームウェアは、wivia ファームウェアのバージョン 3.0.0.0 以上の wivia 本体へのみ適用できます。また、バージョン 3.0.0.0 以上の wivia 本体に対し、バージョン 3.0.0.0 未満のファームウェアを適用することはできません。
wivia3.0.0.0 で提供される Windows 用および Mac 用ソフトウェアは、ファームウェアのバージョン 2.0.0.0 以上の wivia 本体に対して利用が可能です。ただし、wivia3.0.0.0 より搭載された機能の一部については、wivia 本体のバージョンが 3.0.0.0 以上でないと使用できないものがあります。

## ■ wivia 3.0.1.0 について

wivia 3.0.1.0 では、Mac の最新の OS である OS X 10.9 の対応と不具合の修正を実施しています。wivia 本体のバージョン 3.0.0.0 をお使いのすべての方に対し、本アップデートの適用を推奨いたします。
本バージョンのファームウェアおよびソフトウェアは、wivia サポート Web サイトから入手いただけます。アップデート方法については、wivia サポート Web サイトで入手いただけます『wivia 取扱説明書』をご覧ください。
（wivia サポート Web サイト http://www.uchida.co.jp/wivia/）

## ■ ファームウェアアップデート適用上の注意

wivia 3.0.0.0 から wivia 3.0.1.0 へアップデートすると、以前に設定されていた背景が初期画面に戻ります。（その他の設定項目は引き継がれます。）wivia 3.0.1.0 のアップデート適用後に、wivia 管理画面にて再度背景の設定を実施してください。なお、3.0.1.0 のアップデート適用後以降のアップデートでは、以前に設定されていた背景が引き継がれるようになります。

ファームウェアアップデート中は wivia 本体の電源を絶対に切らないでください。ファームウェアの更新に失敗し、以降、該当の wivia を使用することができなくなります。

## ■ 動作要件（wivia 3.0.0.0 / 3.0.1.0）

wivia 3.0.1.0 の対応オペレーティングシステムは以下のとおりです。

- Windows 用 wivia ソフトウェア
  - Windows 8 / 8.1 [i]
  - Windows 7 Service Pack 1
  - Windows Vista Service Pack 2
  - Windows XP Service Pack 3
- Mac 用 wivia ソフトウェア
  - OS X 10.9.1（バージョン 3.0.1.0 より）
  - OS X 10.8.4
  - OS X 10.7.5
  - Mac OS X 10.6.8
  - Mac OS X 10.5.8

[i] ARM アーキテクチャの PC 向けの OS である Windows RT には対応していません。

## ■ 機能の追加、変更、および削除（wivia 3.0.0.0 / 3.0.1.0）

wivia 3.0.0.0 / 3.0.1.0 で新たに追加された主な機能は以下の通りです。

［wivia 本体（ファームウェア）］

1. HDMI 対応
   HDMI での映像が出力できるようになりました。HDMI では音声も同時に出力されます。

2. 対応解像度
   wivia 本体側にて、以下の解像度が出力できるようになりました。（青字が新規に対応）

   デジタル出力
   1. 720p (1280 x 720)
   2. 1080i (1920 x 1080)
   3. 1080p (1920 x 1080)

   アナログ出力
   1. SVGA (800 x 600)
   2. XGA (1024 x 768)
   3. HDTV (1280 x 720)
   4. WXGA (1280 x 768)
   5. WXGA (1280 x 800)
   6. FWXGA (1360 x 768)
   7. FWXGA+ (1440 x 900)
   8. UXGA (1600 x 1200)
   9. Full-HD (1920 x 1080)

   ※ wivia 3.0.0.0 より、SVGA (1280 x 1024) には非対応となります。

3. 無線 LAN クライアントモード
   既設の無線 LAN アクセスポイントへ、wivia 本体を無線 LAN 経由で接続することができるようになりました。

4. RADIUS 認証
   wivia 本体において、RADIUS 環境下の既設 LAN への接続が可能になりました。（ただし、証明書による認証には非対応です。）

5. ホスト名 / ドメイン名の設定
   wivia 本体において、ホスト名およびドメイン名の設定ができるようになりました。

6. 背景の設定
   wivia 本体の待ち受け画面の背景に、PNG 形式のファイルを利用できるようになりました。

7. タッチパネル機能
   wivia 本体を USB 接続のタッチパネルディスプレイと接続することによって、wivia を経由してタッチパネルディスプレイを利用することができるようになりました。

［Windows 用ソフトウェア］

1. 操作画面の変更
   操作画面を刷新し、タッチ操作がしやすくなりました。

2. 拡張ディスプレイ機能
   PC の画面を拡張し、2 つ目の画面を wivia 本体へ投影することが投影できるようになりました。
   （Windows XP/ Vista をご利用の場合は、別途ソフトウェア（wivia 拡張表示ドライバー）のインストールが必要になります。）

3. タブレットからの操作
   Android / iOS 搭載のスマートフォンやタブレットから、PC を操作することができるようになりました。
   （本機能を利用するためには、App Store、または Google Play より、「SidePad」をダウンロード、インストールする必要があります。）

4. お気に入り機能と wivia ソフトウェア起動時の wivia 本体検索の省略
   よく利用する wivia 本体を「お気に入り」として登録することができるようになりました。「お気に入り」登録された wivia 本体は、検索結果の成否にかかわらず、常に wivia 本体一覧の上位に表示されます。wivia ソフトウェア起動時の wivia 本体の検索の実行を省略する設定を合わせて行うことで、wivia ソフトウェア起動時の待ち時間を短縮することができます。

5. ソフトウェア起動時の解像度変更の設定の変更
   ソフトウェア起動時の解像度変更の設定を変更することができるようになりました。起動時の変更解像度を任意に設定したり、画面解像度を起動時に変更しないように設定したりすることができます。

［Mac 用ソフトウェア］

1. OS X 10.9 対応　（バージョン 3.0.1.0 より）
   Mac の最新の OS である OS X 10.9 に対応しました。

## ■ 不具合の修正および品質の改善（wivia 3.0.1.0）

wivia 3.0.1.0 では、wivia の 3.0.0.0 の以下の不具合の修正および品質の改善を実施しました。

［ファームウェア］

1. 特定の操作手順で wivia Snaps を実行すると、wivia Snaps が利用できなくなる問題を修正しました。

2. 動画再生と同時に別の PC から 4 分割投影を行うと、まれに動画再生が停止する問題を修正しました。

3. カンファレンスコントロールの「wivia KEY」を入力する画面で別のページに移動すると、他の PC からカンファレンスコントロールに入ることができなくなる問題を修正しました。

4. 動画再生開始直後に別の PC から画面投影を開始されると、元の PC の wivia ソフトウェア上の動画再生が終了しない問題を修正しました。

5. 2 台の PC から同時に全画面投影を開始すると、wivia 本体側で画面投影が正しく開始されない問題を修正しました。

6. wivia 本体に長時間（3 時間以上）画面投影を行うと、投影に遅延が発生することがある問題を修正しました。

7. wivia 本体の画面解像度設定が 1080i (1920 x 1080) の時に、PC からの投影画面が正しく表示されない問題を修正しました。

8. PC から画面投影開始時に投影が正しく開始されないことがある問題を修正しました。

9. 動画再生中に別の PC から該当の wivia 本体のカンファレンスコントロールに参加すると、再生中の動画が停止することがある問題を修正しました。

10. スクリーンセーバー表示時に残像が残ることがある問題を修正しました。

その他、文言等の細かい修正を行いました。

［Windows 用ソフトウェア］

1. PC で拡張ディスプレイを使用している場合に、wivia ソフトウェアで表示されるダイアログが常にメインディスプレイに表示される問題を修正しました。

2. 音声付き全画面投影を長時間（3 時間以上）連続して行うと、音声が消音される問題を修正しました。

3. 投影モードの最適化を行いました。

4. 設定のインポート後、再起動の確認ダイアログで再起動をキャンセルした場合に、設定が反映されないように変更しました。

5. 検索の設定の「IP アドレス・ホスト名」入力時の IME の動作を変更しました。

6. Windows XP での使用時に、操作画面を最小化するとその後操作画面が復帰しない問題を修正しました。

7. 同じ画面名の wivia が複数存在する場合に、操作画面のお気に入りボタンを押下しても該当の wivia がお気に入りとして登録されない問題を修正しました。

その他、コマンドラインでの実行時の動作改善、ログ出力機能の修正、細かい文言の修正等を行いました。

［Mac 用ソフトウェア］

1. OS X 10.9 から画面投影を行うと、投影画面が停止する問題を修正しました。

2. 日本語名の USB ストレージを使用して起動 USB の作成を行うと、起動 USB が正しく作成されない問題を修正しました。

3. Mac のネットワークの切断後しばらく経過すると、wivia ソフトウェアが動作を停止する問題を修正しました。

4. 起動 USB の作成ウィザードでドライブの指定が正しく動作しない問題を修正しました。

5. 動画再生中に別の PC から該当の wivia へ投影や動画再生を開始された場合に、元の wivia ソフトウェアで動画再生が復帰しない問題を修正しました。

6. 検索の設定の IP アドレス入力欄で、入力後の文字の再編集ができなくなる問題を修正しました。

7. USB ストレージが接続されていない状態で起動 USB の作成を実行すると、wivia ソフトウェアが動作停止する問題を修正しました。

その他、設定項目の修正、コマンドラインからの実行時での問題の修正等を実施しました。

## ■ 制限事項

1. 本リリースノートに記載しているものより過去のバージョンの wivia ファームウェアは、本リリースの Windows 用 wivia ソフトウェアと一定の互換性はありますが、すべての機能および性能の互換性を保証するものではありません。本リリースノート記載のバージョンの wivia ファームウェアをご利用ください。

2. Windows 用 wivia ソフトウェアの画面投影モードの変更には、wivia ソフトウェアの再起動が必要です。設定変更後に再起動を促すメッセージが表示されますが、ここでキャンセルすると wivia ソフトウェアは再起動されず、投影モードの設定変更は適用されません。設定の変更は wivia ソフトウェアの再起動後に正しく適用されます。

3. セキュリティソフトウェアなどにより、USB メモリーへのアクセスがブロックされることがあります。この場合、USB メモリーから wivia ソフトウェアを利用することはできません。セキュリティソフトウェアのセキュリティレベルを低く設定するか、システム管理者にお問い合わせください。

4. 一部のポップアップ画像などは wivia 本体に正しく投影されないことがあります。この場合、投影の設定で DirectX 投影モードに設定することで投影できる場合があります。

5. 一部の CAD ソフトウェアのような OpenGL を多用するソフトウェアや、DirectX を多用するソフトウェアと wivia の画面投影機能との併用ができないことがあります。Windows 用 wivia ソフトウェアの場合は、投影の設定で DirectX 投影モードに設定することで投影できる場合があります。

6. Windows XP SP2, SP3 および Windows Vista SP0, 1 で Windows 用 wivia ソフトウェアをご利用頂く場合、IP アドレスを直接指定して同時に発見できる wivia 本体は 10 台までに制限されます。上記 Windows にてご利用いただき、かつ IP アドレスを直接指定して 10 台を超える wivia を同時に発見する必要がある場合は、弊社または販売代理店までお問い合わせください。

7. 一部のシンクライアント環境では wivia を正しく動作させることができず、シンクライアント環境に深刻な影響を与える場合があります。シンクライアント環境にて wivia をご利用頂く場合は、弊社または販売代理店までお問い合わせください。

8. カンファレンスコントロールでは PC、Mac からの画面投影や動画再生の開始をブロックします。一時停止等、投影中の画面や動画の操作は引き続き画面投影及び動画再生元の PC、Mac からの操作が可能です。

9. 本製品は 24 時間 365 日の連続動作を保証しておりません。wivia の使用終了後は本体の電源をお切りください。

## ■ 既知の問題

1. Windows ファイアウォールやセキュリティソフトウェアの設定により、動画の再生に失敗することがあります。この場合、各ソフトウェアや機能の設定を変更いただくことで、問題を回避することができます。

2. Windows XP の管理者権限を持たない標準ユーザーで使用する場合において、あらかじめ画面のプロパティで wivia 拡張ディスプレイを利用しない設定にしていると、wivia ソフトウェアで拡張ディスプレイの表示が行われません。wivia 拡張ディスプレイを有効にした後、再度ご利用ください。

3. wivia ソフトウェアを実行中に OS を再起動すると、wivia ソフトウェアが変更した PC の設定変更が元に戻らないことがあります。この場合、手動で設定を変更してください。wivia ソフトウェアが起動時に設定を変更するのは以下の 3 つになります。（ご利用の設定や環境によっては、変更がなされないことがあります。）
    1. 画面解像度
    2. 電源オプション（Windows のみ）
    3. ハードウェアアクセラレータの設定（Windows XP のみ）

4. Windows 用の wivia ソフトウェアでは、一度発見された wivia は検索の設定を変更した後も引き続き操作画面に表示されます。wivia ソフトウェアを再起動すると、検索の設定がすべて正しく適用されます。

5. wivia ソフトウェアを起動すると、Windows PC 上のマウスカーソルが二重に表示されることがあります。

6. wivia ソフトウェアの投影設定を変えながら画面投影を繰り返していると、wivia Snaps が利用できなくなることがあります。wivia 本体および wivia ソフトウェアを再起動すると、問題が修正されます。

7. その他、wivia 本体や wivia ソフトウェアが動作を停止する等の問題が発生した場合は、wivia 本体の再起動（本体の電源スイッチを OFF し、再度 ON）や wivia ソフトウェアの再起動を行なってください。

## ■ 関連する資料

wivia 本体、および wivia ソフトウェアの詳細な使い方については、『wivia 取扱説明書』をご覧ください。これらは wivia サポート Web サイトから入手いただけます。